

安全データシート
PARA mount N/D

作成日:2010年12月1日

改訂日:2023年10月1日

1. 化学品等及び会社情報

化学品の名称	PARA mount-N(パラマウント-エヌ) PARA mount-D(パラマウント-ディー)
製品コード	PARA mount-N: 308-400-1~3 PARA mount-D: 308-500-1~4
会社名	株式会社ファルマ
住所	東京都渋谷区大山町 36-7
電話番号	03-6407-2570
ファックス番号	03-3465-0300
電子メールアドレス	marketing2@falma.co.jp
緊急連絡電話番号	080-8878-0242
推奨用途及び使用上の制限	試験研究用:病理組織標本作製用封入剤

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性	皮膚感作性	区分 1

上記以外の項目は、区分に該当しない又は分類できない

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置くこと。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
静電気放電に対する予防措置を講ずること。
蒸気の吸入を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置	皮膚に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合は洗濯すること。皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。
保管	直射日光を避け、容器を密閉して涼しく(15～25℃)換気の良い場所で保管すること。
廃棄	内容物、容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	アクリル樹脂、飽和脂肪族炭化水素
官報公示整理番号	なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診察、手当を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。 皮膚を水で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合には外して洗うこと。 眼の刺激が続く場合、医師の診察、手当を受けること。
飲み込んだ場合	すみやかに口をすすぎ、無理に吐かせないこと。 気分の悪い時は、医師の診察、手当を受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	泡、ドライケミカル、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	棒状注水
火災時の特有の危険有害性	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火災によって刺激性、毒性又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取り、大量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

開封時は充分留意し、使用後はしっかりと蓋を閉める。

作業場は一般の排気装置を設置し、十分に換気する。

換気の良い区域でのみ使用すること。

必要に応じ適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣を用いる。

皮膚に付けたり眼に入れたりしない。

飲み込んだり吸い込んだりしない。

衣服についた場合は直ちに除去する。

接触回避

強酸化剤、ハロゲン化物

衛生対策

取扱い後は手などをよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、容器を密閉して涼しく(15~25℃)換気の良い場所で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度

未設定

設備対策

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

空気中の濃度を制御するには一般適正換気で十分である。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じ、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じ、保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

物理状态	粘性液体
色	無色～淡黄色透明
臭い	わずかな特異臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	可燃性
爆発下限界及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
引火点	44°C(密閉式)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	N:1000 mPa·s、D: 620 mPa·s
溶解度	ほとんど溶解しない。ヘキサンとアセトンに溶解する。
n-オクタノール／水分配係数	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない
屈折率	1.45

10. 安定性及び反応性

反応性	強酸化剤、ハロゲンと反応する。
化学的安定性	常温、常圧下で安定。
危険有害反応可能性	指定通りに使用した場合、本物質は健康あるいは安全性への危険を呈さない。
避けるべき条件	火花又は裸火。
混触危険物質	ゴム、強酸化剤、ハロゲン化物
危険有害な分解生成物	燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素。

11. 有害性情報

急性毒性	区分に該当しない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性又は 眼刺激性	データなし
呼吸器感受性	データなし
皮膚感受性	アレルギー性皮膚反応が生じる可能性があるため区分 1。
生殖細胞変異原性	データなし

発がん性	動物を用いた試験で発がん性が認められなかったため、分類できない。
生殖毒性	データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性	区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	データなし
水生環境有害性 長期(慢性)	データなし
残留性・分解性	データなし
生態蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	1866
国連品名	RESIN SOLUTION flammable
国連分類	3
容器等級	III
国内規制	
海上規制情報	該当しない。
航空規制情報	該当しない。
陸上規制情報	消防法の規定に従う。
注意事項	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう、積み込み、荷くずれの防止を確実に 行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法
消防法

危険物・引火性の物
第4類引火性液体、第2石油類非水溶性液体

上記内容は当社で入手可能な情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関しては、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。未知の有害性があり得ますので、取扱には十分ご注意ください。

本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。